

投資事業評価調書 (新規)

課室名	河川環境室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川環境室長 窪田 彰 (初田 一三)	内線	4 4 3 9 (4 4 2 8)
-----	-------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	河川事業	事業名	事業区間	総事業費	9 . 6 億円
		河川環境整備事業 自然再生事業	(一) 円山川流域 鎌谷川、下ノ宮川他		

所在地			着工予定年度	完成予定年度
豊岡市三江地区他			平成 15 年度	平成 21 年度

事業目的	事業内容
自然環境の再生 「コウノトリ野生復帰推進計画(案)」と連携し、 河川環境の自然再生・保全整備を行い、魅力ある地 域づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物調査等 ・ 湿地の再生 (鎌谷川他 10ha) ・ 河川の自然再生 (下ノ宮川他 500m) ・ 河川の連続性確保 (六方川他)

評価視点	
(1) 必要性 快適性・ゆとり 地域の活性化 安全・安心 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ コウノトリなどの生き物と人とが共生できる豊かな自然環境を創出する。 ・ 人々が自然とふれあう場を創出し、都市市民との交流を活発化させるなど地域の活性化を図る。 ・ 行政、地域住民、学識者など様々な分野の人々との連携を図り、「自然再生計画検討会(仮称)」の設置、NPOによる維持管理など「参画と協働」のもとに事業推進を図る。 ・ 遊水地の設置等により治水安全度の向上を図る。 ・ 国土交通省、農林水産省、文部科学省など一体となって事業を実施することにより、効率的な事業執行を図る。 <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 転作田を活用したビオトープ水田の整備 (農林水産省) ・ コウノトリの飼育 (文部科学省) <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元及び市町から事業化への強い要望あり。
(2) 有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用便益比 $B / C = 4 . 3$ ・ 事業実施にあたってはモニタリング等によりその効果を確認しながら整備を進める。(平成15年度には生物調査等を実施して「自然再生計画」を策定し、その後、遊水地等の整備を実施していく予定である。)
(3) 環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コウノトリが餌場としていた河川(鎌谷川等)は、コンクリート護岸化され、また、水田は圃場整備により乾田化しており、多様な生物の生息環境が悪化している。そのため、農林事業等と連携を図りながら、湿地の再生、河川の自然再生化、河川の連続性確保等河川環境の再生を行う。
(4) 優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コウノトリの郷公園において人工飼育されたコウノトリ(現在100羽を超えている)が、平成17年度から試験放鳥することとなっている。そこで、コウノトリの餌場となるような自然豊かな河川環境を創出する。